

科目区分	専門教育科目	科目名	給食経営管理論習Ⅱ		科目コード	20S630	担当者	太田 美代									
対象学生	生活創造学科 栄養士コース 2年生	学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独										
		授業区分	実習				選択										
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択										
					免許・資格要件		栄養士推奨										
科目的主題					学修成果との関連（大○、中○、小△）												
給食経営管理論習Ⅰでの経験を活かし、食事サービスに必要な知識と技術を高める。					1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力										
科目的到達目標					① 誠 實 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 力 ・ 創 造 力	⑤ 実 行 体 力 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 獻 力							
1.	対象者と提供者の両方を考えた献立作成ができる。				△	△	○	△	○	△							
2.	ミスのない発注書が書ける。				成績評価の方法と割合												
3.	大量調理のコツと調理機器の使い方を理解する。																
4.	大量調理施設衛生管理マニュアルに準じた仕事ができる。																
5.																	
授業方法					受講態度（30%） 提出物（20%） 実技試験（20%） 定期試験（30%）												
課題等への対応					授業外学修時間												
課題（給食日誌：1回、グループ献立レポート：1回、自主献立実習のための発注書：1回）は添削し、返却する。 また、試験内容の確認には、個別に対応する。					毎週15分程度（課題提出前は、60分程度）												
回数	授業計画				学習課題（予習・復習）												
第1回	オリエンテーション、事務作業（自主献立作成、栄養士実力認定試験対策）				自主献立実習用の献立を作成する。												
第2回	事務作業（グループ献立作成、栄養価計算）				自主献立実習用の発注書を作成する。												
第3回	事務作業（グループセレクト試作①準備、バイキング献立作成①）				自主献立実習用の献立と発注書を見直す。												
第4回	グループセレクトの試作・検討①				試作検討用紙①をまとめる。												
第5回	事務作業（試作②準備、バイキング献立作成②）				グループ献立を見直す。												
第6回	グループセレクトの試作・検討②				試作検討用紙②をまとめる。												
第7回	事務作業（グループセレクト提供準備①、バイキング献立決定）				グループ献立を見直し、レシピを完成させる。												
第8回	自主献立実習（定食形式）【実技試験】				レシピを確認し、工程をシミュレーションする。												
第9回	事務作業（グループセレクト提供準備②、バイキング用発注書作成）				グループ献立用の発注書と作業計画表を完成させる。												
第10回	グループセレクト実習（a班献立）、事務作業（打合せ、報告書作成）一実習補助				事前にレシピと役割を確認する。a班は実習後、給食日誌をまとめる。												
第11回	グループセレクト実習（b班献立）、事務作業（打合せ、報告書作成）一実習補助				事前にレシピと役割を確認する。b班は実習後、給食日誌をまとめる。												
第12回	グループセレクト実習（c班献立）、事務作業（打合せ、報告書作成）一実習補助				事前にレシピと役割を確認する。c班は実習後、給食日誌をまとめる。												
第13回	事務作業（バイキング給食の打合せ、グループ献立レポートと給食日誌の作成）				グループ献立レポートを完成させる。												
第14回	バイキング給食				レシピを確認し、工程をシミュレーションする。												
第15回	意見交換会、衛生管理				実習を振り返り、成長と課題を明確にする。												
試験	定期試験を実施する																
教科書	調理のためのベーシックデータ 松本伸子監修、女子栄養大出版部				受講生への メッセージ	特定給食施設での給食経営管理の実践を行います。授業時間以外にも自立的なグループ活動での事前準備等が必要になりますので、お互いに連絡を取り合い、協力して作業を進めましょう。また、調理実習では、主体的に作業に臨む姿勢が大切です。大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、衛生管理も確實に行います。											
参考書等	栄養管理と生命科学シリーズ「給食経営と管理の科学」 井川聰子他、理工図書																